

プレジデント・ミッション
2010年度 業務目標

業務全般

- 2011年度以降の「JFA メンバーシップ基本還元金」および「プレジデント・ミッション支援制度」の運用詳細を確定し、都道府県協会に展開するとともに、スムーズに導入されるようサポートする。
- 各都道府県協会の活動状況、地域性や特性の把握、関係者とのコミュニケーションなどを目的に、積極的に支援制度対象事業の活動視察を行う。
- 全都道府県の非登録プレーヤー数を把握する。その上で、2015年までにサッカーファミリー500万人に向けた都道府県別の目標数を再設定し、ファミリーの定義及び人数のカウント方法を検証する。
- 「M5:エリート養成システムの確立」と「M8:リーグ戦の推進と競技会の整備充実」に関する支援制度は、既存のトレセン事業や各種全国大会等の他施策関連とともに、より発展できる仕組みとなるように改善する。
- 教育関係機関や自治体、行政に積極的に働きかけ、連携することで、中学生年代、女子、フットサル、グリーンプロジェクトなどの各種事業の普及を推進する。
- 各種事業のさらなる発展を目的に、JFA 各種業務の運営・管理方法を地域／都道府県協会への移管も考慮しながら検証する。
- 2015年/2050年を見据え、これまでの評価分析を行い、進捗状況を確認した上で今後の方針を作成する。

M 1:「JFA メンバーシップ制度」の推進

- 非登録プレーヤー数の推定結果を各都道府県に報告し、引き続きタスクフォースの支援制度と連携して人数の更なる把握・分析を行う。

M 2:「JFA グリーンプロジェクト」の推進

- 「ポット苗方式芝生化モデル事業」を推進する中で、誰にでもできる安価な芝生づくりを広く啓発し、より一層の芝生化の推進を図る。特に、苗づくり拠点の拡充や、芝生化やその維持管理に関し、現地のニーズに応じて、指導派遣ができるようなインストラクターを各地に養成することで、芝生化運動の持続的な推進体制の確立に努める。
- 助成年度2ヶ年を残す都道府県フットボールセンター整備助成事業に関して、特に未設置の都道府県に対して、設置に向けた働きかけを行う。

M 3:「JFA キッズプログラム」の推進

- 9地域におけるジョイントミーティングを行うことにより、同一地域内の情報共有を図るとともに、今後のキッズにおける普及・発展を目指す。また、全国のジョイントミーティングにおいて各地域の現状や課題を把握し、好事例を各地域にて取り入れることにより各都道府県における更なる普及を目指す。
- 幼稚園・保育園等における巡回指導の重要性の理解をさらに深め、積極的な展開を促す。
- 幼稚園・保育園等で初めてサッカーに触れた子供たちに対し、小学生年代関係者・女子サッカー関係者・フットサル関係者・Jリーグアカデミーとの協力体制をさらに推進することにより、サッカーを続けていくための環境整備を図る。

M 4:中学生年代の環境充実

- 「他年代との連携」を引き続き重点取り組み事項として掲げ、先進好事例を JFA news 等を通じて紹介することで、小学生年代から高校生年代へのスムーズな移行を推進する。
- リーグ戦の支援制度と連携し、リーグ環境を整備することで、引き続き中学生年代の各レベルに応じた環境の中でのプレー機会を確保する。

M 5:エリート養成システムの確立

- 都道府県においてキッズエリート活動が複数の拠点にて定期的かつ継続的に行われる様に、指導者のあり方と自主採算運営に関する情報展開を行う。
- 地域ジョイントミーティングと全国ジョイントミーティングを開催し、情報と活動の交流をより積極的に行える環境作りに努める。
- 2011 年度にはすべての都道府県協会がキッズエリート活動を実施出来る様、未着手の都道府県協会に対してアプローチする。

M 6:女子サッカーの活動推進

- 各年代において女子選手が継続的にプレーできる環境を整備するため、引き続き、キッズ年代・小学生年代・中学生年代それぞれの関係者や活動との連携を図る。
- 指導者や審判員、運営スタッフなど女子サッカーに携わる新たな人材の育成にむけた取り組みを行う。
- ジョイントミーティングなどを活用し、地域／都道府県協会の取り組みの中長期的な継続を促すことで、さらなるグラスルーツの普及を推進する。

M 7:フットサルの普及推進

- 小学校への学校体育にフットサルを取り入れてもらうため、教育機関へ働きかけを行う。
- 大学にて教員志望の学生に対し、フットサルの講習会等を行うことにより、フットサルの更なる普及を目指す。
- ジョイントミーティングを活用し、情報交換を行い、今後の各都道府県におけるフットサルの普及・発展を推進する。

M 8:リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

- 「高校生／中学生年代の地域／都道府県リーグ」の取り組みをサポートする。また、地域／都道府県ユースダイレクターや担当者と協働し、各地域の実情を踏まえた上で地域性に合わせたリーグ戦を推進し、全都道府県での実施を目指す。
- 2009 年度に立ち上げた「小学生年代における日常の生活圏内でのリーグ戦」の都道府県への定着を図る。引き続き、小学生年代リーグの運用上の問題点を抽出し、支援制度内容の改善を行う。
- 関連部署と連携し、各年代のプレーヤーがレベルに応じた環境でプレーできるよう、引き続きリーグ環境の整備を行う。

M 9:地域／都道府県協会の活動推進

- JFA 事業の中で、都道府県協会が管理できるものは可能な限り運営の裁量権を都道府県へ移譲することを今後推進するため、都道府県協会が地域性や独自性を発揮できる仕組みを考察する。
- JFA 事業の検証とあわせて、主管協会(JFA・地域・都道府県協会)に関する考察を行う。
- 自主財源確保に向けた取り組みの好事例を抽出、都道府県協会との情報共有を積極的に行う。
- シニア年代の更なる交流機会の増加を推進するため、「競技志向のプレーヤー」とともに「エンジョイ志向のプレーヤー」が一緒に楽しめるフェスティバルや地域性に応じた充実した競技会の開催を推進する。

M10:中長期展望に立った方針策定と提言

- JFA/Jリーグ将来構想委員会の幹事として、日本のサッカーリーグの全体的なあり方について、1種大会部会を含む関係者と協働して検討を行う。
- 「JFA2005 年宣言」の具現化に向け、充実した内容、更には計画-実行-確認が定期的に行われ、活用度が高まる「JFA 業務プラン 2012」を作成する。

M11:スポーツマネジメントの強化

- JFA スポーツマネジャーカレッジ(SMC)本講座について、そのあり方を再検討するとともに、2009 年度のカリキュラムを精査し、より良い講座作りに努める。
- 各地(青森／埼玉／東京／新潟／福井／愛知／大阪／島根／広島／山口／大分／沖縄で実施予定)で SMC サテライト講座を実施する。
- SMC 入門(仮称)の運用を開始する。
- SMC リフレッシュ講座のあり方を検討し、展開する。
- SMC 広報冊子の展開や JFAnews をはじめとした広報活動を行い、SMC の認知を高めていく。

以上